

イエス・キリストの福音

ホープ・チャペル所沢

第一コリント人への手紙15:1-11

「兄弟たち。私は今、あなたがたに福音を知らせましょう。これは、私あなたがたに宣べ伝えたもので、あなたがたが受け入れ、また、それによって立っている福音です。また、もしあなたがたがよく考えもしないで信じたのでないなら、私の宣べ伝えたこの福音のことをしっかりと保っていれば、この福音によって救われるのです。」（第一コリント15：1-2、新改訳）

序文

使徒たちの中で最も小さい者だと自らを見なしていた使徒パウロですが、彼は神様の恵みによって、異邦人教会に対する神様の計画と目的のために用いられました。パウロは手紙のこれまでの部分で、イエス・キリストの恵みと召しについてと、賜物や、さらには信仰と希望にさえも勝る愛の重要性について説明して来ましたが、ここで彼は、福音の内容を明確にすることによって、コリントの教会に宛てた第一の手紙の締めくくりを始めました。

1. パウロはコリント人に対し、福音の内容を再度確言しています。 (1-2節)

ア) イエス・キリストの福音とは何でしょうか？

イ) 「信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。」（ローマ1:16）

2. イエス・キリストの福音とその証人たち。 (3-7節)

ア) 福音の内容とは、死と復活、昇天、そして約束された再臨です。

イ) 使徒たちと500人以上の兄弟たちによる目撃。

3. 私たちは、死から甦り栄光を受けられたキリストを証しするために召されています。 (8-11節)

ア) 最初の使徒たちは皆、キリストと共に時を過ごし、甦られたキリストを見ました。

(使徒1:15-21)

イ) パウロは自分自身を、その世代の最も小さな使徒であると考えていました。

結論

あなたは何を信じますか？十字架につけられ、甦り、天に昇り栄光を受けられた主、イエス・キリストについて、周囲の人に何を証しすることが出来ますか？私たち皆が使徒として召されているわけではありませんが、聖霊の力と言葉と聖さをもって、イエスの再臨の日までキリストを証しするよう皆が召されているのです。

私たちの祈りと学び、話し合いと応用のために：

- 1) 1-2 節でパウロが言う「よく考えもしないで信じる」というのはどういう意味でしょうか？
- 2) 3-7 節の中で、パウロはイエス・キリストの復活の証拠として何を挙げていますか？
- 3) 8-11 節を読み、使徒パウロが自分自身と、その使徒としての立場をどう見ていたのかを考えてみましょう。

100508hctj